

CSRマネジメント

CSRマネジメント体制

女性支援・環境保全・コンプライアンスを柱に活動しています。

広報部門、企画部門、調査部門で構成されるCSR推進委員会が、CSRに関する企画立案から実施まで、CSR活動全体を統轄しています。

また社内外に対しCSRに関する意識調査を行っています。

2015年度 CSRアンケート結果

当社のCSR活動に対する認知や評価について、ベルメゾン会員を対象に調査。2015年度は1,584名にご回答いただきました。最も共感度の高い活動は「ピンクリボン運動への参加」、2位が「子育て支援」、次いで「商品の安全・安心」「廃棄物削減への取り組み」「個人情報保護対策」という結果になりました。

今後も調査結果をもとに、さらなる活動の強化に努めます。

CSRポリシー

愛される存在であるために、できることを。

お客さまをはじめ、社会に感謝し、私たちにできることを日々積み重ねてまいります。

※ CSR活動に関する詳細は、当社Webサイトをご覧ください。
(<http://www.senshukai.co.jp/csr>)

topics 乳がん罹患者向けの支援を開始

女性を乳がんから守りたいという思いから、さまざまな活動に取り組む中、2015年度は乳がん罹患者(サバイバー)への取り組みを開始しました。

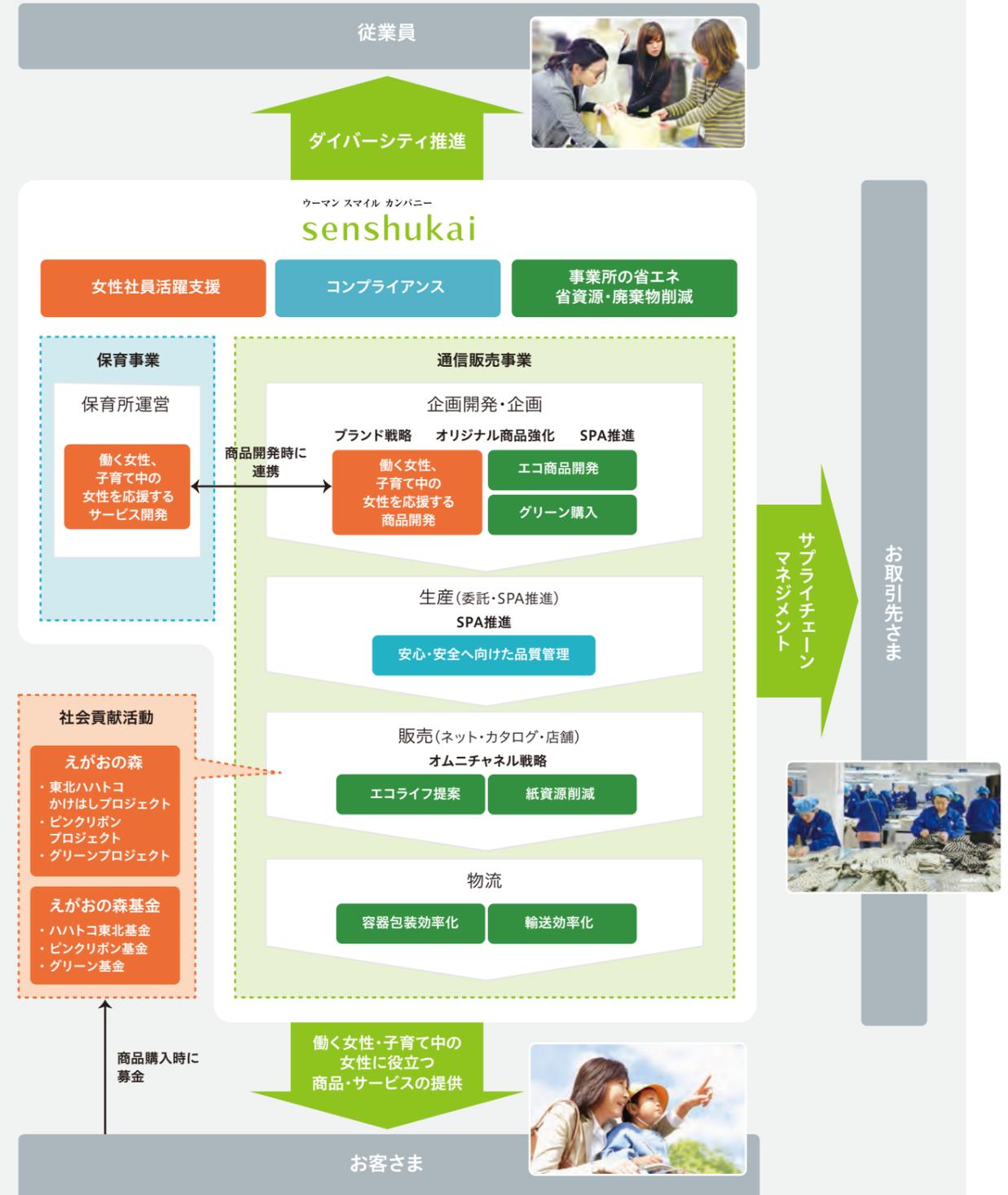
毎年約8万もの人が罹患する乳がん。罹患者の多くが治療を続けながら仕事や子育てなど社会との接点を持ちながら生活する女性たちです。罹患者のお困りごとに関するアンケートを実施したところ、「ブラジャー」の悩みがトップを占めました。2014年のインプラントによる乳房再建術への保険適用開始を受け、今後は乳房を再建される方の増加が予想されていることから、サバイバーへの支援第一弾として、乳房再建者向けのブラジャーの開発を決定しました。

開発にあたり、「乳がん体験者の会KSHS(キッチンと手術・ホンネで再建の会)」代表の溝口綾子さまにお話を伺い、その後、乳がんを経験され、乳房を再建された6名の方からブラジャーのお困りごとについて、ご意見・ご要望をお聞きするグループインタビューを実施しました。ご意見をもとに、2016年度の発売をめざして引き続き開発を進めていきます。今後も事業とつながるCSR活動に取り組んでいきます。



グループインタビューの様子

千趣会のCSR取り組み全体像



CSR活動における重要課題

オリジナル商品開発
事業を通じて働く女性、子育て世代の女性を応援

子育て支援
安心・安全な保育所運営で働く女性や忙しい女性を支援

女性への支援
+ 東北支援

えがおの森基金
女性・母と子を支援する「ピンクリボン基金」「ハハトコ東北基金」/環境保全活動を支援する「グリーン基金」

社内での女性活躍支援

特に注力する分野
(重要課題)

環境活動
紙使用量の削減
地球温暖化防止
3R(廃棄物の削減)
エコ商品の開発
環境コミュニケーション
省エネルギー

コンプライアンス
お客さまが求める品質の確保
顧客情報保護
情報開示